



菺野町 参事監



小山参事監に聞く

片岡参事、加藤参事とともに小山行政顧問（参事監）に菺野町の印象などを尋ねるインタビューを行いました。

これまでの菺野町との関わり

片岡参事 小山参事監の菺野町との関わりについて教えてください。
小山参事監 三重県の職員を40年務めて、いろいろな部署を経験しましたが特に北勢県民局時代は、観光関係で関わりがありました。当時から北勢地域の観光地としての可能性は大きく感じていて、高山方面や浜名湖方面などと比べても勝負できるのではないかと思います。テレビ局と連携して観光施策に取り組んだことがあります。特に菺野町は、湯の山温泉の廃業したホテルや旅館を何とかすることをテーマに掲げ、温泉の経営者や女将さんたちとともに検討会を開催したこともあります。当時から菺野町は魅力的な場所だと感じていま

した。

片岡参事 小山参事監の地元は南伊勢町ですが、菺野町との違いはどういったところで感じますか。

小山参事監 南伊勢町は、太平洋に面したリアス式海岸の町で居住地は町域の1%しかありません。本場に狭いところに密集しているの、比較すると菺野町は土地が広大に感じ、鈴鹿山脈から広がった高原地帯が良いなと思いますね。

加藤参事 確かに菺野町は山、南伊



▲小山参事監が南伊勢町長を務めていた令和元年、菺野町と南伊勢町は観光連携協力協定を締結



小山巧 Koyama Takumi

PROFILE
1951年生まれ。南伊勢町出身。三重短期大学法経科第二部を卒業前の1969年に三重県庁に入庁し、三重県総務部予算調整課長、北勢県民局副局長、政策部副部長、環境森林部長、三重県立病院事業庁長などを歴任。2009年に南伊勢町長に初当選し地域の過疎化や人口減少問題に取り組み、3期務めた後、任期満了に伴い政界を引退。令和4年4月から菺野町行政顧問（参事監）。

勢町は海、と環境が全然違いますよね。菺野町の印象として何か思い浮かぶものはありますか。
小山参事監 まず、御在所岳とそれに続く高原イメージですね。御在所岳もよく登ったことがあり、初夏のアカヤシオやシロヤシオが咲く頃が特に好きで、鈴鹿土木事務所にも務めていた頃はよく湯の山温泉も一泊して利用していましたね。

参事監が考える行政の役割

加藤参事 市町村などの基礎自治体にこれから必要なことは何だと思えますか。

小山参事監 これまでの経験を経て思うのは、基礎自治体、特に小さい自治体であればあるほど、目の前の業務に手一杯になりがちです。総務省の指導により人員削減が、

と聞いています。

加藤参事 各課の連携を強くしていくためにも、私たちとともに間を取り持つ調整役としてよろしくお願ひします。

小山参事監 難しいことですが、全体をうまく連携させていく役割も果たせるよう努めます。

まずは自助から始める

片岡参事 最後に町民の皆さんへのメッセージをお願いします。

小山参事監 菺野町は、税収も人口も裕福な町であると思います。豊かな自然もあり、働ける場所もある。すぐく力のある魅力的な町です。また、町に住むことによって地域の繋がりとといったことを強く感じられる部分もあります。そのことを認識し、もっと地域のために町民の皆さんが何かを始めることで自分たちの生活もプラスになり、町全体も良くなっていくことに繋がります。役場に頼るといふよりは、地域の皆さんがまず自助から始める。それを助ける行政といったかたちが望ましいと思います。
片岡参事 ありがとうございます。小山参事監、これから菺野町のためによろしくお願ひします。

片岡芳輝

PROFILE
Kataoka Yoshiki

1964年生まれ。1983年、菺野町に入職。保健衛生課、税務課、産業課、住民課などを経て2020年、総務課長に就任。令和4年4月、参事に就任。



どんどん進み、どこの自治体でも大変な状況になっていきます。そのような中で各課長の下、縦割りで自分のやらなければいけない業務をやることは間違いないですが、住民の皆さんの視点からは、各課が連携して関わることでできることや、国、県からの縦割り施策が末端の市町で総合行政にすることが大切だと思います。高度経済成長期から比べて現在は生活様式も変わってきています。役場の仕事を住民の目線から見ると今の生活に合っているかを考え、いかに総合的な行政サービスを提供できるかが鍵になってきています。

小山参事監 加えて、みんな欲しいものが一緒だった時代から、それぞれ必要とするものが異なる時代に変化しています。そして、早いスピードで求めるものが変わっていく。行政サービスも同じで、現在は感染症の影響もあり、生活なども大きく変わっています。そういった変化の節目を認識し、町民が必要としているサービスに柔軟に対応していくことが大切です。県や市などの大きな自治体では柔軟に対応していくことは難しいかもしれませんが、町という規模は住民が必要としているサービスをスピーディーに提供できる規模であると思います。役場内の組織の繋ぎ方などを伝え、職員力が上がっていくことが町民にとっても住民サービスの向上に繋がると考え、外からの目線を持ち込めれば

菺野町は恵まれた町

その認識をもって何か一つでも行動すればきっとプラスになる

